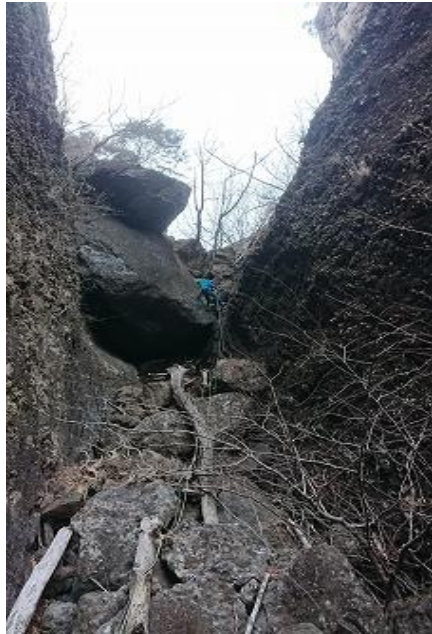


## 山 行 報 告 書

山行報告者：今 田

山 名： 裏 妙 義 木戸前 偽ルンゼマルチピッチクライミング		群馬県
入山日：平成31年3月24日		帰宅予定日： 3月24日
参 加 者	L：今田 報： 記： 加藤、佐藤ゆ	
	男 1名、女 2名、計3名	
最終打合せ： 月 日 ( ) 雨天中止・順延の連絡：月日 ( ) 13時までに(メール)で連絡。		
順延： 無		
予 定 3月24日 (日)	集合時間： 午前6時30分 集合場所：上尾駅東口セブンイレブン周辺 6:30~8:30 妙義神社参拝 9:00 裏妙義国民宿舎駐車場 丁須の頭方面へ~9:30 木戸壁取り付き 10:00~木戸前偽ルンゼ~14:40 コルにて終了懸垂下降~17:20 終了撤収 17:50 裏妙義国民宿舎駐車場~20:40 頃上尾着 7ピッチ登り4時間40分 5ピッチ懸垂下降2時間30分	
装 備 と 食 糧	共同装備： ロープ50m2本(今田) ヌンチャク10本カム、ナッツ数個(今田) 車、ツェルト、捨てスリング(今田)	
	個人装備：雨具、コンパス、地図、水1L 昼食 ヘルメット、ATC、ハーネス、ヘッドランプカラビナ、スリング クライミングシューズ 防寒服 グローブ、昼食、行動食	
感 想	<p>広沢寺に行く予定であったが、前夜雨の予報に変わってしまったことから裏妙義に変更することにした。ビレイの練習の為、今田がリードで登り、セカンドで加藤さんが回収、佐藤さんの確保もしてもらった。お互いのコールを確認し、静かに登った。岩に集中していたせいか時間はあっという間であった。最後のピッチを登り、細い木にランニングビレイをセット、次の瞬間土煙とともに乗っていた岩が下に落下し、私はロープにぶら下がっていた。我に返り加藤さんたちに声を掛けると無事なようなのでほっとした。加藤さんに助けられたのだ。落石を起こさないよう静かに確認しながら登っていたが、自然の怖さを痛感した瞬間であった。コルで休憩し懸垂下降は慎重に降りた、最終ピッチは巨岩が今にも落下しそうであった。無事に駐車場に到着するとパトカーから警察官が出てきて「下山が遅いので事故かと思いました」と声を掛けてくれた。「慎重に懸垂下降したので時間がかかりました」「なにごともなくよかった、明日の朝再度見に来ようと思っていました」「ご心配をおかけしました」</p> <p>裏妙義からたくさんのことを学んだ山行となった、今回も妙義の神が見守っていたのだと思う。そして、加藤さん、佐藤優子さんありがとうございました。</p>	

